第 2 回 徳洲会国際再生医療シンポジウム in 鎌倉

～再生医療の新たなステージ“サイエンスから臨床実装へ”～

開催日：2026 年 12 月 9 日（水）～12 月 10 日（木）
会　場：湘南ヘルスイノベーションパーク（WEB ハイブリッド開催）
主　催：一般社団法人 徳洲会
共　催：アイパークインスティチュート株式会社
言　語：英語・日本語（同時通訳または AI アシスタント通訳有）
※プログラムは暫定版で、今後変更になることがございます。ご了承ください。

■ DAY 1　12 月 9 日（水）

13:10　セッション 1　これからの再生医療 in iPark in 日本

湘南アイパークは世界有数のライフサイエンス拠点であり、そのエコシステムを紹介してもらうとともに、2027 年日本再生医療学会総会の大会長を務める田中里佳先生をお迎えし、わが国の再生医療の現在地とこれからの展望を語ってもらい、シンポジウム全体の導入となるセッションである。

座長：浅原孝之（湘南鎌倉総合病院先端医学研究所）

1-1　**藤本 利夫（湘南ヘルスイノベーションパーク 所長）**

1-2　**田中 里佳（順天堂大学 形成外科）**　第 26 回日本再生医療学会 会長

14:35　セッション 2　細胞外小胞による再生医療

細胞外小胞（エクソソーム）は、細胞治療に続く次世代の再生医療モダリティとして世界的に開発が加速している。本セッションでは、エクソソーム治療の作用機序、GMP 製造と品質管理、規制動向、国内の臨床現場を概観し、基礎研究から臨床応用・産業化に至る道筋と課題を多角的に議論する。

座長：落谷 孝広（東京医科大学）

2-1　**落谷 孝広（東京医科大学）**

2-2　**Sai Kiang Lim（シンガポール科学技術研究庁）**

2-3　**Eva Rohde（ザルツブルグ大学）**

2-4　**藤田 雄（東京慈恵会医科大学 呼吸器内科）**

2-5　**大竹 剛靖（湘南鎌倉総合病院 再生医療科）**

17:20　徳洲会グループ 東上 震一 理事長 挨拶

17:35–19:00　ウェルカムパーティーおよびビジネスコミュニケーション

■ DAY 2　12 月 10 日（木）

10:10　セッション 3　再生と炎症の先端科学（1）

組織の再生と修復は炎症と表裏一体であり、加齢に伴う慢性炎症や細胞老化は再生能の低下と臓器機能障害の根幹をなす。本セッションでは、細胞老化・老化細胞除去、慢性炎症と臓器リモデリング、マクロファージ生物学と多階層オミクス解析といった最先端の切り口から、「炎症を制御することで再生を導く」新たな治療戦略の可能性を探る。

座長：室原 豊明（国立長寿医療センター研究所）

3-1　**Amankeldi Salybekov（カザフスタン先端医学研究所）**

3-2　**中神 啓徳（大阪大学 健康発達医学）**

3-3　**眞鍋 一郎（千葉大学 疾患システム医学）**

3-4　**Masanori Aikawa（ハーバード大学 Brigham and Women's Hospital）**

13:00　セッション 4　再生と炎症の先端科学（2）

近年、クローン性造血（CHIP）に代表される体細胞変異と慢性炎症の関連が、心血管疾患や加齢関連疾患の新たな成因として注目されている。本セッションでは、この分野を切り拓いてきた Ken Walsh 教授らを迎え、ゲノム科学と再生医療が交差する最前線を展望するセッションである。

座長：塩島 一朗（国立循環器病センター研究所）

4-1　**Kenneth Walsh（ヴァージニア大学 心血管医学部門）**

4-2　**佐野 宗一（国立循環器病センター 心血管モザイク研究室）**

4-3　**合山 進（東京大学 新領域創成科学研究科）**

14:50　セッション 5　先端再生医療の現状と未来（検証型診療のあり方）

本セッションでは、日本を代表する先進再生医療の臨床開発における、研究から臨床への実装の課題を共有する。パネルディスカッションでは、エビデンスに基づく再生医療の提供体制と診療のあり方を含め、先端再生医療が社会に定着するための条件を総合的に討論する。

座長：小林 修三（湘南鎌倉総合病院）

5-1　**髙橋 政代（株式会社ビジョンケア）**　第 25 回日本再生医療学会 会長

5-2　**中村 雅也（慶應義塾大学 整形外科）**　第 24 回日本再生医療学会 会長

5-3　**浅原 孝之（湘南鎌倉総合病院先端医学研究所）**

5-4　**パネルディスカッション**